【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-529582(P2004-529582A)
【公表日】平成16年9月24日(2004.9.24)
【年通号数】公開・登録公報2004-037
【出願番号】特願2002-592623(P2002-592623)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　 5/335
　Ｈ０１Ｌ　27/148
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　 5/335　　Ｐ
　Ｈ０４Ｎ　 5/335　　Ｆ
　Ｈ０１Ｌ　27/14　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成17年4月13日(2005.4.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　電子イメージセンサ（２０２）を使用して対象シーンを電子的に捕捉する方法において、
　前記電子イメージセンサの基板（３０２）に第１の電圧（４０６）を供給するステップ（５０４）と、
　前記対象シーンからの入射光に対し前記電子イメージセンサを既定の露出期間だけ露出させて、前記電子イメージセンサに電荷を蓄積するステップ（５０４）と、
　前記既定の露出期間後に、前記電子イメージセンサの前記基板に、前記第１の電圧より低い電圧である第２の電圧（４１０）を供給するステップ（５０８）と、
　前記電子イメージセンサから前記電荷を出力するステップ（５１２）
を含む方法。
【請求項２】
　前記基板（３０２）に前記第２の電圧（４１０）を供給する前記ステップ（５０８）は、前記電子イメージセンサ（２０２）のイメージエリア（２０４）の前記基板にのみ前記第２の電圧を供給するステップである、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
　前記入射光に対し前記電子イメージセンサ（２０２）を露出させる前記ステップ（５０４）は、前記電子イメージセンサの前記イメージエリア（２０４）のみを前記対象シーンからの前記入射光に対して前記既定の露出期間だけ露出させて、前記電子イメージセンサの前記イメージエリアに前記電荷を蓄積するステップである、請求項２に記載の方法。
【請求項４】
　前記電子イメージセンサ（２０２）の前記イメージエリア（２０４）から前記電荷を前記電子イメージセンサの記憶エリア（２０６）に転送するステップ（５１０）をさらに含み、前記記憶エリアは前記イメージエリアより小さいことからなる、請求項３に記載の方法。
【請求項５】

前記電子イメージセンサ（２０２）の前記基板（３０２）に前記第２の電圧（４１０）を供給する前記ステップ（５０８）に先立ち、前記対象シーンからの前記入射光を遮蔽するために機械式シャッタを閉じるステップ（５０６）をさらに含む、請求項１乃至４のいずれかに記載の方法。

【請求項６】

対象シーンをデジタル的に取込むための装置において、

基板（３０２）を有する電子イメージセンサ（２０２）と、

前記電子イメージセンサに動作可能に結合されて、前記電子イメージセンサの前記基板に第１の電圧（４０６）および第２の電圧（４１０）を供給する基板駆動回路（２２２）であって、該基板駆動回路は、前記電子イメージセンサを前記対象シーンからの入射光に露出させて前記電子イメージセンサに電荷を蓄積する露出期間中、前記電子イメージセンサの前記基板に前記第１の電圧を供給するように構成され、該基板駆動回路は、さらに、前記露出期間後に、前記電子イメージセンサの前記基板に、前記第１の電圧より低い電圧である前記第２の電圧を供給するように構成されることからなる、基板駆動回路（２２２）と、

前記電子イメージセンサに結合されて、前記電子イメージセンサからの前記電荷を出力する出力レジスタ（２０８）

を備える、装置。

【請求項７】

前記電子イメージセンサ（２０２）は、イメージエリア（２０４）と記憶エリア（２０６）とを有し、前記記憶エリアは前記イメージエリアより小さい、請求項６に記載の装置。

【請求項８】

前記基板駆動回路（２２２）は、前記電子イメージセンサ（２０２）の前記イメージエリア（２０４）の前記基板（３０２）にのみ前記第１および第２の電圧（４０６、４１０）を供給するように構成される、請求項７に記載の装置。

【請求項９】

前記電子イメージセンサ（２０２）に結合されて、前記電子イメージセンサの前記イメージエリア（２０４）から前記電子イメージセンサの前記記憶エリア（２０６）に前記電荷を転送するように構成された垂直駆動回路（２１８）をさらに備える、請求項７または８に記載の装置。

【請求項１０】

前記電子イメージセンサ（２０２）は電荷結合素子を含む、請求項６乃至９のいずれかに記載の装置。